

不審者対応避難訓練を実施



連携して不審者を確保する教職員



不審者からの誘いを拒否し、必死に逃げるA君

1月24日（木）に桐生警察署生活安全課のスクールサポーターを講師にお招きして、不審者対応避難訓練を実施しました。今回の避難訓練のねらいは、

- ①不審者の侵入にあたって、安全な場所に落ち着いて迅速に避難する態度を身に付けること
- ②事件発生時に、秩序を保ち、統制ある集団行動がとれるようにすること
- ③生命の尊重や安全に対する認識を学ばせ、自分の身は自分で守る意識を育てること

の3つです。訓練では、講師自らが不審者役となって1年2組に侵入しましたが、阿久津教諭（担任）の適切な指示により、2組の児童は迅速で安全に避難することができました。他の学級の児童も整然と避難ができ、現場に駆けつけた教職員によって不審者は、取り押さえられました。職員のおすまたの使い方も上達し、みごとな連携プレーで不審者を確保できました。

また、避難した体育館で連れ去り防止訓練もおこないました。4年生2名が児童の代表で不審者から声をかけられる役で訓練に取り組みましたが、二人とも大きな声で助けを求めながら必死に逃げることができました。いざという時に自分自身を守るための適切な判断と全力の行動ができ、皆のお手本となりました。

クラブ見学&クラブ発表

相生小学校には、室外球技・室内球技・卓球・バドミントン・将棋オセロ・茶道・手芸・イラスト工作・金管バンドの9つのクラブ活動があり、4・5・6年生が、自身の興味関心や得意なことを生かして各クラブに所属し、活動してきました。

その取組と成果の発表を、実演や展示でおこないました。また、3年生は来年度の所属希望を考えるために、1月23日と2月6日に各クラブを見学しました。



室外球技クラブを見学する3年生